

アカデミックアドバイジング

CAS 基準とガイドライン

ACADEMIC ADVISING CAS STANDARDS and GUIDELINES

Part1. ミッション

アカデミックアドバイジングプログラム (AAP) は、そのミッションの中に、学生の学習と成長 (student learning and develop) を組み入れなければならない。AAP は、そのミッションとゴールを、記録し、広め、履行し、定期的に再検討しなければならない。ミッションの記述は、その機関 (institution) のミッションと目標に、また、この文書の基準に一致したものとなっていないなければならない。

AAP のもっとも主要な目的は、人生の目標と両立できるような、有意義な教育計画を発展させることである。よって、学生を支援することである。

機関は、プログラムの目標と、アドバイザとアドバイジークの両者の期待を含まなければならない。アドバイジングに付随する哲学を、明確に記述しなければならない。プログラムは、その機関の使命と一致しなければならない。

教育計画と、人生の目標についての意志決定に対する究極の責任は、それぞれの学生にかかっている。アドバイザーは、(学生が) 決定の選択肢とその結果を見極め、評価することを手助け、支援すべきである。

アカデミックアドバイジングに対する機関のゴールは、以下のものを含むべきである。

- ・適切な教育計画を発展させる
- ・キャリアと人生の目標の明確化
- ・適切なコースの選択と他の教育経験の選択
- ・制度が要求していることを解釈すること
- ・学生が利用できる教育上の資源について、それを知ってもらうこと

とを促進する (例えば、インターシッップ、留学、賞、学生支援プログラムなど)

- ・立てられた目標に向かって、学生がどれだけ進歩しているかの評価
- ・意志決定のスキルの発達
- ・学生のセルフディレクションの強化
- ・制度上またはコミュニティ支援サービスへの、リファーマと活用
- ・制度的決定と方策を行う上で利用するために、学生のニーズ、パフォーマンスに関するデータを収集し分類する

Part2. プログラム

学生の正課教育 (formal education) は、目的が明確で、ホリスティックで、またカリキュラムとコ・カリキュラムから成っている。アカデミック・アドバイジング・プログラム (AAP) は、適切で望ましい学生の学習と発達の成果を、はつきりさせ、これら成果の達成を支援するプログラムやサービスを提提供しなければならない。適切で望ましい成果とは、以下のようなものを含んでいる：知的成長、効果的コミュニケーション、現実的自己評価、自己尊重が高い、価値をはつきりさせる、キャリア選択、リーダーシップの発達、健康的行動、有意義な対人関係、自立心、協調、社会的責任、満足、生産的ライフスタイル、多様な個性を認め、個人的または教育的目標の達成。

AAP は、教育的または個人的問題に圧倒されたり、スキル不足に悩む学生を支援しなければならない。プログラムは、学生の学習と発達の成果の達成へ強い影響をあたえなければならない。

プログラムとサービスは、より密

口を使う
フを例
を例
標な
指う
のよ
他の
るす
あ定
が同
連は
関た
にま
接一

学生の学習と発達の成果の領域

現シたや複；い術、エ
表・し験、るし美シ
にル定経らと新、リ
確力決的かを、学、プ
明イを人源位を文ア
をテか個資学念；て
標リ何、な；概るし
目ク；にまるやす対る
的にるめざす報用にする
例育決いたま用情適学現
の教解用すさ活たに科表
標・題を出むをし境を
長指的問題を情報解環社
成の人の見を情理や、ヨ
的成個人；ン意を前況学シ
知達すンリ観雑以状科一

書話者象
ににや他抽すゼフ
い後とて；現レパ
書たこしる表は
にえく通きに；た
的考書をで確うま
率く；現が明か、
効よる表とにつる
ンつ；す術的のをきる
ヨ例かるり芸る率法でき
シのしすたたえ効文がで
一のしすたたえ効文がで
ケ標貫りしま与をなシ
ニ指一た話、を念切ヨス
ユの尾しりと響概適シ
ミ成首話たこ影な；一マ
コ達りいすに的るテ一

目合ブ安
；；イに能
するテ的機
示め一統も
をじサ継て
重はアらく
尊を；かな
の動う者い
へ行負他て
上例者てを；れ
向の他しくす
の標や対ス示え
情指心にりを与
感の尊成な動が
尊成自達的行感る
自達標理な心す

決さ明ド学
表た弱にいら
にしや的イか
確致さ論フ験
明一強理の経
をとのをらの
力観分扱か去
能値自根者過
価や価；の他；
評例的的分；る
己のキ人と自るめ
自標ス個を；す求
な指の；動る現を
的の分る行め表ク
実成自すや認めッ
現達現定を確バぶ

す決検のう
動志を分なよ解
す行意観自的の理
現てた値；人どを
表しし価す個が
に致映や示のら
確一反念をルれる
明とを信志イそす
を観観の意タ、響
例観値値分るすめ影
観の値価自すつに
値標価の；義イみ定
価指の分る定ラを決
なの分自す再や観志
確成自；；をし事値意
明達るる定討仕価に

判ベユ經 室 連 っ 理 た
を述ミアル教 関てと確てま踏
力にコイキ；けにいに明い、を
能確、テスるづれつ分をつり順
、明験ンや作連そに自徴にた手
ルを経ラ知識を関と果；特界める
キ択たボ知類を的成るの世始す
ス選い、た書び目やき境のをり
、ア働スれの学のルで環事索た
例観リやビさての事キ成業仕探し
択の値ヤ育一出いで仕ス構職；業探
選標価キ教サきつ外なやをいる職を
ア指や、課一導に室確知識書しす；先
リの味で正イら果教明知歴ま現る学
ヤ成興し；テか成と；た履好表す進
すキ達断る二験や内るしのでに解はむ

組 ミ民的
イ生シナて目た
タ学ジイしのか
ス；ポダとプ
やるのの一一え
学すプダルみ
の表現ツ一グに
スキップに一グ；すを示
ス例ッ確ダ；る示果を
ッのシ明一るすを結力
シ標一てりめ解念い能
一指ダいで努理理しる
ダの一中ををなます
一成りにのンス的好に
リ達ル織ヨク主やち

行ス、進
すネす促
らル現を
減工表一
をウにイ
クと確テ
ス康明ニ
リ健をユ
、；係ミ
例しづ関コす
動の進選のな示
行標促を標的を
な指を境目康動
的の康環の健行
健康成健や生；る
健達動一るす

すあきわ
持の聞きか
維価をか
、で解し
きの見重
築互の尊
を相者を
係と他者
関例関係；他
人の人同く；
対標対や築る
な指な人をえ
義の足友係考
意成満；関く
有達るるよる

機とビ管
にこ一に
的るパ的
律す一果
自能ス効
；機ばを
すにら間
示的あ時
を存と；
例動依要る
の行互必け
標頼相；う
指信；るを
の己るきンる
自達能がジ理

かフのの
ののの
とら一
者か一
他者ル
；他グ
く；る
働るめ
にめ求
例的求を
の力をク
標協いッ
指とあバ
働成他わ一
協達かイ

正ズ 二 発
でニ 開
瞭一 フ
明レ タ
、れ ス
は、 ス
ア 価
イ 評
テ 表
ン 述
ラ 記
ポ 務
び 職
よ 基
お 礎
生 確

られ、広められ
は、中心の
グ、他の
ン、が、
れ、イ能
さ、バ機
表、ドは
公、アで
、なク
れらッ機
さなミの
写ばデか
描れ力つ
とけアく
りな い

AAPは、その使命を遂行するの
適切、技術スタッフ、ポータル
タツ、メナ、ス、を、を、を、を、
務、な、バ、一、一、一、一、
倫、理、的、な、を、を、を、を、
二、三、四、五、六、七、八、九、
な、い、い、い、い、い、い、
用、同、似、に、お、お、お、お、
れ、ば、な、い、い、い、い、

Part5. 人的資源
ア、カ、デ、ミ、ク、ア、ド、バ、イ、ジ、ン、グ、ブ
ロ、グ、ム、ル、を、十、ン、ツ、の、な、す、切、な、力、
口、ゴ、人、ら、ド、ラ、ス、タ、タ、タ、タ、タ、タ、
とい、いな、イ、は、よ、な、ヨ、フ、を、ラ、門、に、

AAPは、公平で、包括的・非差別
的なら、昇進を、実施し、なければ
なら、ない。AAPは、学生に、容易に、同
一、視、キ、に、タ、ツ、フ、を、雇、用、し、な、け、
れ、ば、な、ら、な、い、

ア、カ、デ、ミ、ク、ア、ド、バ、イ、ザ、一、は、そ、
の、専、門、的、な、力、を、持、つ、た、人、を、
取、得、し、な、い、

AAPは、すべてのスタッフ・メン
バ、ー、の、た、め、の、職、務、内、容、一、覧、を、作、成、
し、な、い、

学、位、や、資、格、を、取、得、中、の、
(credential-seeking) イ、ン、タ、一、ン、
は、切、れ、育、に、を、バ、ー、な、

定、期、的、な、タ、ツ、フ、を、雇、用、し、な、
ら、な、い、

雇、用、深、ト、レ、ン、ド、フ、か、断、判、一、を、
注、意、し、な、い、

機、関、は、AAPを、指、揮、す、る、よ、う、な、
あ、な、上、ツ、を、ザ、ア、ッ、

